



昭光石材店 だより



こんにちは。昭光石材店・営業の山岸です。早いもので、今年もお盆の季節になりました。頻繁にお墓参りは難しくても、お盆にはお参りに行かれる方も多くいらっしゃると思います。

そんな中、お盆を区切りに、お墓じまいを考えている方もいらっしゃいます。近年、

地方の過疎化や少子化なども影響し、継承者のいない無縁墓になってしまうことを心配される方や、子どもに負担をかけたくない、遠方で管理やお参りが難しい、夫婦それぞれの実家のお墓を守るのが大変などの様々な事情で、お墓じまいを検討される方が増えています。私共は石材店ですので、お墓の販売はもちろんですが、お墓じまいについての相談も承っております。お見積りは無料ですので、まずはお気軽にご相談ください。



施工前

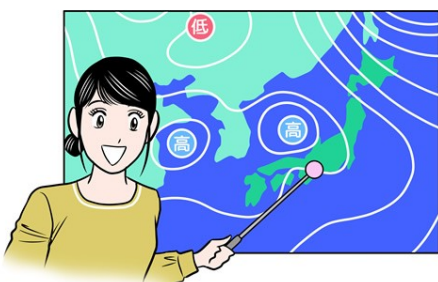


施工後

知っていますか? 8月の記念日

●8月28日は「気象予報士の日」です

1994年のこの日に、第1回の気象予報士国家試験が行われました。気象庁以外の方が気象予報を行う際、その予報の技術水準や信頼性を担保するための技能試験として創設され、全国ワカ所で実施され



ました。平均の合格率は例年約5%程度と、とても難易度が高いことでも知られています。

■発行者:株式会社 昭光石材店

代表: 阿部 正樹 (あべ まさき)

平成元年より真駒内滝野霊園で、営業・商品開発等の実績と経験を重ね、2011年に会社を設立。お墓のプロとしての30年以上の豊富なキャリアを活かし、ご家族の想いに寄り添いながら、より良いお墓づくりをご提案してまいります。

弊社HPのQRコードです⇒



株式会社 昭光石材店

0120-22-4050

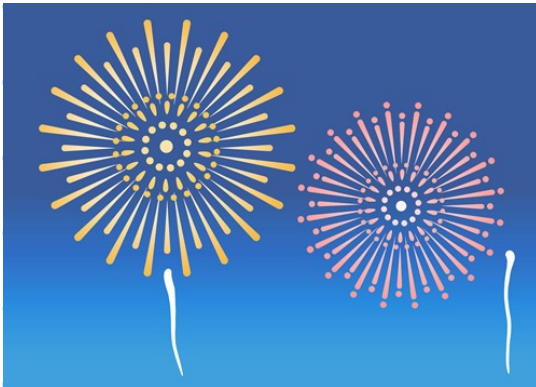
札幌市南区常盤2条2丁目18-6



～お墓・仏事の三二知識～



★ 日本の夏の夜を彩る「花火」



日本の夏の風物詩「花火」。花火の起源は古代中国の狼煙(のろし)にあるといわれ、日本には後の火薬の発明を経て武器として伝わりました。現代まで続く花火大会の始まりは、江戸時代の享保年間に、飢饉や疫病の死者の供養・悪疫退散のために水神祭が催

され、花火が打ち上げられたことにあるとも言われています。その後、華やかなことが好きな江戸っ子たちにも受け入れられて広まっていきました。現在も全国各地で花火大会が行われていますが、そのはじまりとなった花火のように、鎮魂や慰霊の意味が込められた大会もあります。今年は花火の美しさを楽しむだけでなく、故人への思いや平和を願いながら、夜空を見上げてみてはいかがでしょうか？

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。



鳥取県三朝町にある三佛寺は、標高900mの三徳山に境内があります。その奥院は垂直に切り立った絶壁のくぼみに建てられていますが、その名称はなんでしょう？

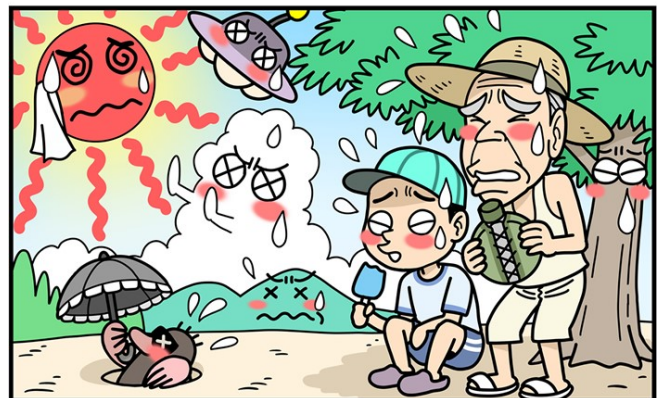
- ① 投入堂(なげいれどう)
- ② 腰掛堂(こしかけどう)
- ③ 岩屋堂(いわやどう)



行者が法力でお堂を手のひらに乗るほど小さくして、岩窟に納めたと言われていました。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの思いで、発行しています。